

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト 実施報告書

報告日	平成 29 年 12 月 15 日
主管学校名	愛知教育大学附属特別支援学校
P T A 会長名	佐藤 元泰

実施概要	主管校	愛知教育大学附属特別支援学校
	交流校	愛知教育大学附属岡崎小学校
	実施活動名	つるさし, イモほり会, 収穫祭
	実施日時	つるさし 平成 29 年 5 月 9 日 (火), 12 日 (金) 9:20~10:40 (第 1, 2 校時) いもほり 平成 29 年 10 月 11 日 (水), 12 日 (木) 9:20~10:40 (第 1, 2 校時) 収穫祭 平成 29 年 10 月 26 日 (木) 9:20~12:00 (第 1, 2, 3, 4 校時)
	実施場所	愛知教育大学附属特別支援学校野外実習地 (農園), 愛知教育大学附属特別支援学校運動場
	実施目的	・サツマイモのつるさし・イモ掘り・収穫祭の体験を附小の児童と一緒にすることを通して, 共に活動する楽しさを実感する。また, 人にはたたらきかけたり, 人を受け入れたりして, 共に活動する喜びを実感する。
	実施内容	本校の縦割り活動「なかよしタイム」に, 附小の 3 年 3 組の児童を招待し, 次の活動を行った。 5 月: サツマイモのつるさしを行う。 10 月: イモ掘りの体験をする。 10 月収穫したサツマイモで収穫祭 (焼き芋大会) を行う。
	実施方法	愛知教育大学附属特別支援学校の農園に附属岡崎小学校の児童を招いて, 一緒につるさしやサツマイモを収穫する。また, 特別支援学校運動場にて収穫祭を行う。
参加人数	128 名 (附属特別支援学校 62 名, 附属岡崎小学校 33 名) 教員 33 名	

報告事項	内容	<p>【つるさし】</p> <p>9:20 附小の児童との出会いの会 9:40 つるさし名人 (附特職員) のお話 9:50 つるさし 10:25 つるさし名人 (附特職員) のお話 10:30 解散</p> <p>【イモ掘り会】</p> <p>9:20 附小の児童との出会いの会 9:40 イモ掘り名人 (附特職員) のお話 9:50 イモ掘り 10:25 イモ掘り名人 (附特職員) のお話 10:30 解散</p> <p>【収穫祭】</p> <p>9:20 附小の児童との出会いの会 9:30 イモの準備 (イモを新聞紙とアルミホイルで包む) 10:10 焼きいも (おきにイモを投げる) 11:30 会食 12:00 解散</p>
	結果	<p>【つるさし】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 附特の子どもと附小の子どもが, 一緒に土を掘ったり, つるをさしたりする姿が見られた。 ・ もう少し活動時間に余裕があった方がよかった。 <p>【イモ掘り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 附特の子どもも附小の子どもも名札をつけたことで, 子どもがお互いに名前を呼びあうことができた。また, 附特も附小の教師も, お互いの子どもの名前がわかり, 名前を呼んで活動することができた。 ・ イモ掘りは, 力が必要であったり, イモのまわりを掘る細かい作業が必要であったりしたことで, 附特の子どもだけでイモ掘りをするのではなく, 附小の子どもが自然に手伝う姿が多く見られた。 <p>【収穫祭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イモを新聞紙で包み, その後アルミホイルで包む活動を一緒に楽しく行うことができた。

		<ul style="list-style-type: none">・ 焼きイモと一緒に食べることで、自然と笑顔が見られた。また、自分たちが育ててきたイモを食べたことでうれしさを感じることができた。
	所感	<ul style="list-style-type: none">・ 継続して交流活動に取り組んだことで、交流を重ねるたびに、子どもたちが自らかかわろうとする意識が高まったり、交流を楽しみにしている子どもが増えたり、よい表情をしている子どもが見られたりすることにつながった。・ 附小の同じ学級の子ともとかかわれたことは、附小の子どもの意識を高めるにはよかった。また、附小の子どもが附特の子どもに自然と話しかけている場面も見られた。

添付書類	収支決算書、領収書、参加者の声（附属特別支援学校児童の絵）、参加者の声（保護者・教員・附小児童の感想）、写真
------	--

共生プロジェクト（つるさし）



共生プロジェクト（イモほり会）



共生プロジェクト（収穫祭）



カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成 29 年 12 月 15 日
学校名	愛知教育大学附属特別支援学校

【本校 保護者の感想】

- ・ 附属小学校の生徒の皆さんとイモ掘りを通じて交流している様子を見て、とてもうれしく感じました。
- ・ 附小のお子さんが、声をかけ、接してしてくれる姿がうれしく感じました。
- ・ 附小の保護者の方々と話ができて貴重な時間を過ごすことができた。
- ・ 附小の保護者の方と障害について話をしました。お互いに子育てについて話をするのができ、有意義な時間を過ごすことができました。
- ・ 同年代のお子さんにはあまり興味を示さないイメージがあったが、一緒に参加しことばをかわし楽しんでいた。良い経験になりました。
- ・ 附小の子達とこの機会をつくってくださった先生方に感謝しています。

【附属岡崎小学校の児童の感想】

- ・ 今日、特別支援学校のAさんと交流をしてみて思ったことは、最初はうまくできるかなあと心配していたけど、特別支援学校のBさんのおかげで誰ともうまくやっていけるようになりました。
- ・ これまでの交流で7人の特別支援学校の子とかかわって、思ったことが3つあります。1つ目は、7人の中に入っているBくんは、私に話しかけてくれて、すごく元気が出てとてもうれしかったです。2つ目は、おきにイモをなげるとき、「いくよ。」と言ってくれて楽しくなりました。3つ目は、高等部お兄さんとイモを掘るとき、どこを掘るのか教えてくれました。

【本校生徒の絵】



〔附小の子と楽しいいもほり〕



〔大きないもがたくさんとれたよ〕



〔おいもがたくさん出てきたよ〕



〔大きないもが出てきたよ〕